

「学習内容の構造図」

小単元名

事故・事件のないまちを目ざして

学習指導要領の「内容」との関連

内容（４）地域社会における災害及び事故の防止について，見学，調査したり資料を活用したりして調べ，人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

ア 関係機関は地域の人々と協力して，災害や事故の防止に努めていること。

イ 関係の諸機関が相互に連携して，緊急に対処する体制をとっている。

単元の中心概念

交通安全施設や交通法規の意味と役割，警察署を中心とした事故の処理や防止の工夫と努力，警察署，地域の人々が相互に協力・連携しながら地域の安全を守っていることを理解している。

具体的知識（調べて分かること）

交通事故が毎年多く発生している様々な原因がある。

地域には交通事故を防ぐための施設や設備がある。

交通事故は、さまざまな人の協力・連携によって処理されている。

警察署は地域の安全を守るために、防犯教室や呼びかけ、巡回をおこない交通事故や事件を防ぐ仕事をしている。

地域の人々が主体となって警察と連携し、協力し合って、安全を守るための活動をしている。

地域には、危険な場所や安全な場所があり、人々が協力して地域の安全を守っている。

用語・語句

交通事故の件数  
交通事故の原因

交通ルール・交通事故  
交通信号機・道路標識  
横断歩道・横断歩道橋  
スクールゾーン

警察署・110番  
消防署  
通報通信指令室

パトロール・交番  
地域の安全・防犯教室

安全会議  
交通安全運動  
子ども110番の家  
防犯パトロール

危険な場所  
安全マップ  
事故や事件がおこりそうな場所

資料

交通事故の発生件数グラフ  
資料集P92

事故を防ぐための施設や設備の写真  
資料集p97・98

110番のしくみ資料  
警察の仕事写真  
資料集p95

防犯教室資料  
防犯ポスター  
資料集p92・93・96

子ども110番の家の写真資料  
資料集p97

地域安全マップ  
地域の地図

\*資料の欄の「資料集」とは「わたしたちの甲府市」を指しています。